

# 5年1組「特別の教科 道徳」学習指導略案

1 主題名 「責任ある行動」とは A- (1) 善悪の判断、自律、自由と責任

2 教材名 「いこいの広場」(出典：光村図書「道徳5 きみがいちばんひかるとき」)

## 3 ねらいとする価値について

人はだれでも自由に考えたり、行動したりしたいという思いをもっている。しかし、自由の意味を違えると周りに迷惑がかかったり、自分の将来に影響を及ぼしたりする。自由は、豊かな人間性を培っていくことにつながるが、社会生活を営む上では、そこにきまりがなければならないし、同時に自由の中に責任をもたなければならない。したいことをしたいがままに行動するだけでなく、自分のわがままな意志を律し、自由には責任が伴っていることに気付かせたい。また、自分の生活に結び付けて考え、自分のとった行動が周囲にどのような影響を及ぼすのかを考え、これまでやこれからの行動を見つめ直す態度や自分がどのような行動をしたらよいのか判断する大切さに気付かせたい。

## 4 本時の展開

○ねらい 「みんなの広場」であるはずの公園で、中学生が注意された理由を考えることで、自由な権利があっても、自分勝手な行動をして周囲に迷惑をかけてしまうことがあるその後起きうる影響を考え、自由を大切にしつつも、自律的で責任ある行動しようとする思いを育てる。

	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ※評価
導入	1. 責任ある行動とはどんな行動なのかを考える。 ・自分のことは自分でやるということ。 ・自分でやったことに対して最後までやり遂げること。 2. 公園はどんな場所なのかを考える。 ・楽しく過ごせる場所。 ・みんなで遊ぶ場所。	◇「責任」という言葉のイメージを想起させ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。 ◇公園はみんなのための場所であり、互いのことを考えながら過ごすべき場所であるという認識を共有する。
自由と責任について考えよう。		
展開	2. 「いこいの広場」を読んで話し合う。 ○「おじさん」と「中学生」のどちらの意見に賛成ですか。 <おじさん> ・小さな子のことまで考えているから。 ・誰かがけがをしたら大変だから。 ・広くない場所だから。 <中学生> ・公園は自由に遊んでいい場所だから。 ・気を付けてやっているから。 ・みんなの広場だから。 ☆みんなの広場であるはずなのに、なぜ中学生はキャッチボールをやめなくてはいけないのだろうか。 ・失敗してボールが人に当たってしまい、けがをしてしまうかもしれないから。 ・ボール遊びをすると場所をとって、他の人が遊んだりすることができないから。	◇おじさんの意見に賛成の立場を取る子が多いと考えられる。なぜ、中学生の言い分に反対なのかを問い返ししながら明らかにしていく。 ◇中学生の「気を付けているから大丈夫」という考えと、おじさんの「気を付けていても失敗はある」という考えの違いに注目させる。 ◇中学生がキャッチボールをやめなくてはいけなかった理由を考えさせる。 <b>【補助発問】</b> ・迷惑をかけなければ、何をしてもいいのかな。 ・中学生はどうすればよかったのかな。
終末	3. 学習のまとめをする。 ・自分がした行動が誰かに迷惑をかけているかもしれないので、やりたいことをやるのではなく、その後に起きる状況を考えていくことが大切だと思った。 ・今までは結果がどうなるかを考えていなかったのに、これからは結果を考えて行動したい。	◇責任ある行動とはどんな行動なのか授業を受けて考えたことや分かったこと、気付いたことをワークシートに記入させる。 ※自分の行動に責任をもつことが大切であるということに気付くことができたか。(ワークシート、発言)